

横手市



社協だより



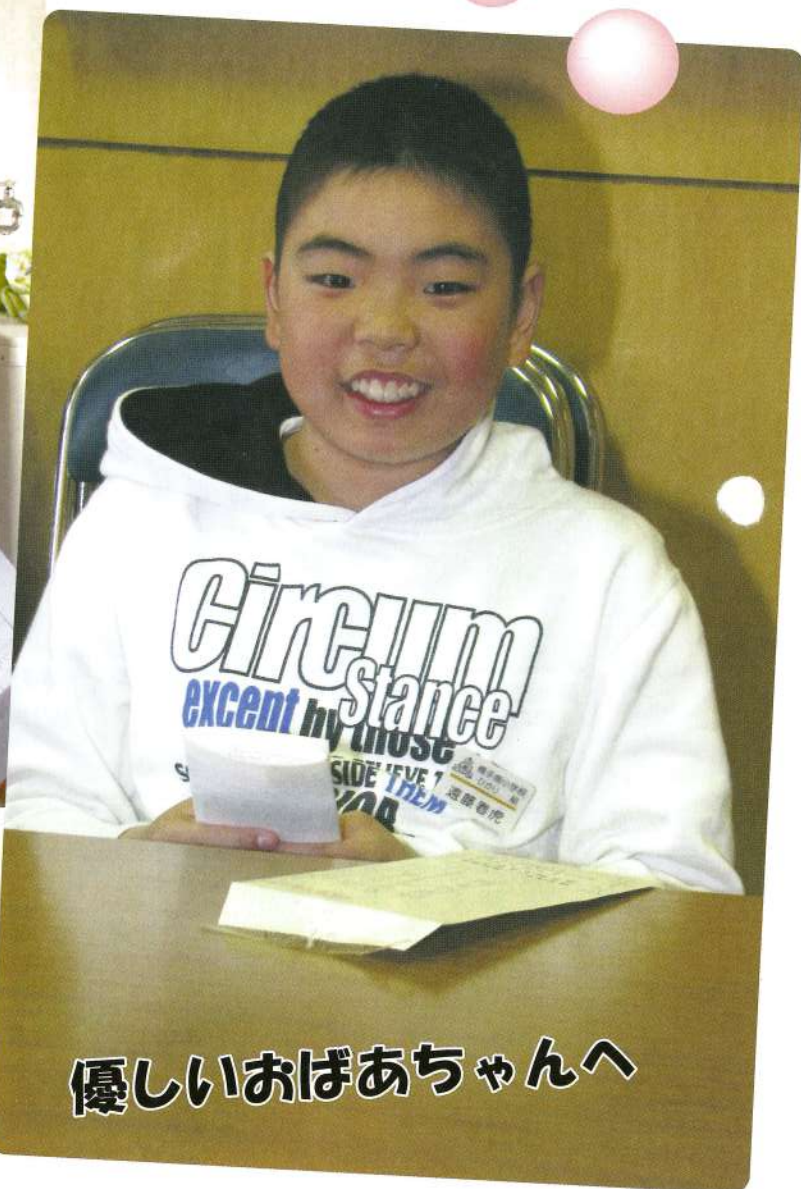
No. **20**
2011.3.31

●発行●横手市社会福祉協議会

その思いきつと届く



自分の孫のように



お一人で暮らしている高齢者の方へ
小学校の生徒から、元気の出るお手紙
をお届けする『ふれあいの手紙事業』を
実施しております。※関連記事P5

優しいおばあちゃんへ

～優しさは あなたがくれる おくりもの～

平成23年度 横手市社会福祉協議会

事業の概要

横手市社会福祉協議会では、基本理念・基本方針に基づいて実施から3年目を迎える地域福祉活動計画の評価・検討を行うと共に、その結果を踏まえた改善や修正を加え、地域住民や関係機関との連携を強化し、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを目指します。

また、介護サービス提供事業者として、ご利用者とそのご家族が安心して生活ができるよう各事業所の連携を強化しながら、社協としての特性を発揮した質の高いサービスの提供を目指します。

I 基本理念

本会は、住民の参加と公私協働による「誰もが安心して暮らすことのできる地域づくり」を目標として活動に取り組みます。

II 基本方針

1. 私たちは、住民と共に、地域における福祉課題の把握と解決に努めます。
1. 私たちは、サービス利用者の人権を尊重し、質の高い福祉サービスの提供に努めます。
1. 私たちは、地域におけるあらゆる団体・組織との連携を図り、総合的な支援体制づくりに努めます。
1. 私たちは、地域福祉を推進する民間団体として、自らの専門的役割と責務を自覚し、自己研鑽に努めます。

▼主な実施事業内容▲

●総務企画関係

- ◆役員会、部会、委員会等の開催、役員研修の実施、各福祉センター及び十文字福祉センター集会施設「ふれあい館」の管理運営等
- ◆収益事業の実施
- ◆売店の経営(南部シルバーエリア、

●地域福祉関係

- ◆市立大森病院
- ◆福祉教育活動の推進
- ◆福祉教育活動の推進・支援
- ◆福祉標語の募集
- ◆ふれあいの手紙事業
- ◆福祉出前事業



真剣に点字学習をしています
頑張る未来を担う子供たち



車イスを体験中。
それっ、段差を登るぞぉ～

◆ボランティアセンターの運営

- ・ボランティア活動の推進・支援
- ・(声の訪問ボランティア、友思美の会への支援等)
- ・ボランティア情報の発信
- ・ボランティア養成研修・講座の開催



傾聴ボランティア「ささやき」です
施設などで活動しています



第3回父ちゃんの楽校1日目
襖の張り替えに挑戦中

◆障がい者の社会参加の促進

- ・声の広報・点字広報の発行
- ・輪気愛相スポーツ交流・小旅行事業(ご本人とご家族、ボランティア等)



輪気愛相スポーツ交流



ふれあいフェスティバルの1コマ
手話コーラスで会場が一つに!

- ・障がい児子育て支援事業
- ・当事者、既存グループ、行政、養護学校等関係者との情報交換や意見交換を行い、自主性を尊重した関係者との連携による自立支援とネットワーク化を図ります。
- ・あそびの王国事業(新規事業)

- 乳幼児や児童、その家族等を対象に、子どもたちの健全育成の推進や世代間交流などができるあそび場を提供します。(10月から実施予定)
- ◆第7回横手市社会福祉大会の開催(10月下旬予定)
- ◆福祉協力員活動の推進(市内15地区に設置されている福祉協力員会の支援等)
- ◆在宅福祉ネットワーク活動の推進
 - ・住民支えあいマップ作成、住民座談会の開催
 - ・(各福祉センター)
 - ・数ヶ所をモデル地区に指定
- ◆いきいきサロン事業の推進(通年実施サロン 110ヶ所予定)
 - ・おためしサロン(新規サロン立ち上げ)の支援
- ◆単身高齢者の集いの開催
- ◆共同募金運動への協力



街頭募金にご協力いただきありがとうございました



地区の自治会長や福祉関係者が集まり、見守りが必要な方への支援体制づくりなどについて話し合いました

- ◆福祉団体の支援
- ◆福祉活動啓発支援事業
 - 各福祉センターにおいて、住民の地域福祉活動参加のための事業や地域の実情に応じて計画し実施
- ◆家族介護者教室の開催(年6回)
- ◆自立者支援通所事業(ミニデイサービス)の実施
- ◆ふれあい安心電話システム事業の推進(市委託事業)
- ◆家族介護者交流事業の実施(市委託事業)
 - ・リフレッシュを目的とした日帰り旅行を開催(年1回)
 - ・市内3地区(各1回)を対象に、3会場で昼食交流会を開催
- ◆地域福祉権利擁護事業の実施(秋田県社会福祉協議会委託事業)
 - 判断能力が弱まってきた高齢者や知的障がい者、精神に障がいのある方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用手続きや日常の金銭管理を行います。
- ◆介護機器の貸出(無料)



かいご教室

- ◆広報「社協だより」の発行(年4回)
- ◆無料法律相談所・心配ごと相談所
- ◆無料税務相談所の開設
- ◆たすけあい資金の貸付
- ◆生活福祉資金の貸付事務(県社協委託事業)
- ◆社協会員拡大運動の実施
- ・会員募集期間(7～9月)
- ◆地域福祉活動計画の評価
- 介護保険等事業
- ◆在宅部門
- ◆訪問介護事業の実施
- ◆通所介護事業の実施(3事業所)
- ◆居宅介護支援事業の実施(5事業所)
- ◆訪問入浴介護事業の実施(6事業所)
- ◆訪問入浴介護事業の実施(2事業所)
- ◆障害者相談支援事業の実施(1事業所)
- ◆施設部門
- ◆特別養護老人ホームの運営
- ・特別養護老人ホーム平寿苑(特養50床、短期10床)



あなたのまちの訪問入浴車です

- ・特別養護老人ホーム雄水苑(特養80床、短期8床)
- ・特別養護老人ホーム憩寿園(特養54床、短期8床)



平寿苑では毎年かまくらをつくっています

●在宅福祉推進事業(市委託事業)

- ◆在宅介護支援センターの運営
 - 横手福祉センター・十文字福祉センター・山内福祉センター・平寿苑・(新規)雄物川福祉センター
- ◆高齢者生活管理指導員(ヘルパー)派遣事業の実施
- ◆障害者地域生活支援事業の実施
 - ・訪問入浴事業
 - ・日中一時支援(障がい児者デイサービス)事業
 - ・移動支援事業
 - ・相談支援事業
- ◆移送サービス事業
- ◆その他
- ◆指定管理施設の管理運営(8施設)
- ◆ホームヘルパー養成研修(2級課程)

地域の方へ「ありがとう」 2月5日

大森



「ここって二階の窓…だよな」

「本当にありがたい」「努力は必ず力になる!」とお礼の手紙に力強い言葉を添えてくれました

大森中学校野球部員12名が、お一人暮らしの高齢者宅でボランティアによる除雪を行いました。

「地域の人達からいつも応援してもらってるので恩返しをしたい」と感謝の気持ちを込めて雪寄せに汗を流しました。家屋周辺に積もった2メートルもの雪は前日の雨で重みを増しており、部員達からは「練習よりきつい!」との声も聞かれました。

世代を超えて『かまくら交流会』 2月12日

八柏いきいきサロンにおいて、子ども達や親の会等と一緒に「かまくら」と「ミニかまくら」をつくり「かまくら交流会」を開催しました。

昨年より開催している交流会は、地域の皆様にも大変好評の行事となっています。

屋根の部分をブルーシートで覆ったことにより、かまくらが崩れる心配もなく、参加者35名程の方が全員入ることができる広さとなっています。



参加者の方は「こういった行事の時でない」と地域の子供たちと会う機会が少ないから、大変良いことだなあ」とお話をされていました。

大雄



こちら 地域情報局

地域的话题を
お届けします

地域の雪まつりに 参加しました 2月19日



十文字

渾身の「マツ魚デラックス」

道の駅十文字で行われた十文字雪まつりの「雪像コンテスト」に社協職員有志によるチームが初めて参加しました。

成績はまずまず(?)でしたが、地域行事に参加できた喜びで一杯でした。この喜びを福祉活動・サービスの充実に繋げていきたいと思ひます。

お互いの想いが届きました

横手



『ふれあいの手紙事業』について…

伊沢美佐子さん：

嬉しくて感動しました。自分の孫のここのように想い返事を書かせてもらいました。

横手南小学校5年遠藤春虎さん：

手紙が届く方の役に立ちたかったです。

優しいおばあちゃんのことを想い書きました。

除雪はわれらにお任せ！ 2月19日

山内中学校生徒によるスノー暖歩隊が一人暮らし高齢者宅へ出動しました。

雪に埋もれていた家が、暖歩隊の若い力で見事、窓に陽の光がさすようになるまでになりました。暖歩隊の皆さん、本当にありがとうございました！



除雪ボランティア
スノー暖歩隊の皆さん



生徒「やっとコツ掴んできた」

山内

健康運動でみんな笑顔 2月21日

四ツ谷地区いきいきサロンでは、横手市地域包括支援センターから講師をお招きし、健康運動を指導してもらいました。タオルを使った家でも簡単にできる体操などを教えていただき、参加者も「なかなか腕が上がらない」といいながらも体操が終わる頃にはみんなが笑顔になりました。

増田



タオルを使った体操

家族介護者交流会 雄物川



画像は小野氏「CAMくんブログ」より提供いただきました

雄物川福祉センターでは、雄物川在住でご家族を介護されている方を対象とした「家族介護者交流会」を月1回開催しています。日頃の介護で不安なことやそれぞれの介護体験などを話すことにより、心のストレスや悩み、課題の解消につなげることを目的としています。情報交換のほか、相談もお伺いしていますので、私たちと一緒に介護ストレスを解消していきませんか。

お問い合わせ先：雄物川福祉センター（56-2072）

おじいちゃん おばあちゃん また来てね

平鹿



べったんべったん
12月16日
樽見内保育園



手のうた
12月2日・醍醐保育園



こってますね〜
1月7日・浅舞感恩講保育園

高齢者と園児のふれあい交流会が醍醐保育園、樽見内保育園、浅舞感恩講保育園を会場に開催されました。

おゆうぎ会や餅つき、昔遊びなど様々な内容で交流し、参加者の方からは「今年は雪が多く外に出るのも気が進みませんでしたが参加して本当に楽しかったです。子供達と遊んだりお話をしていっぱい元気をもらいました。」との声がありました。

「東北関東大震災」に関するお知らせ 被災者された皆さまに心からお見舞い申し上げます

「今、わたしたちにできること」「みんなでやれば大きな力に」 横手市でも助けあい・善意の輪広がる ご支援ご協力ありがとうございました

大森地域老人クラブ連合会一行（54名）は、3月8日～10日の3日間、今回の大地震で津波にのみ込まれた岩手県大槌町の浪板観光ホテルへ旅行に出かけていました。帰宅後の翌日に、地震発生。当日、同ホテルを利用していた五城目町と井川町の老人クラブ（有志約40名）が震災に巻き込まれ、一時消息が不明という報道もなされましたが、その後、全員無事だと聞き一安心。「もしかすると、自分たちが巻き込まれたかもしれない。」「とても他人事とは思われない。こんな時こそ助けあって、少しでも力になれば。」という思いのまま、単位クラブ役員が中心となり、会員や地域の方に声をかけ合い義援金を集めてまわりました。

（横手市老人クラブ連合会・大森地域老人クラブ連合会
会長 成田 浩さん）

日頃から地域と一体となって老人クラブ活動が行われていることと会員の絆や助けあいの思いが一つになってこの度、義援金として横手市共同募金会に届けていただきました。紙面の都合上、ご紹介できませんが、この他にも、市内各地域の皆さんから、各分会（横手市社協各福祉センター）を通じてたくさんの義援金が届けられています。（※皆さまから寄せられた義援金は、秋田県共同募金会、中央共同募金会を通じて被災地に届けさせていただきます。）



大森地域老連を代表し
成田会長（写真中央）より
義援金をいただきました

東北関東大震災 横手市災害支援ボランティアセンター登録状況報告

3月11日に発生した東北関東大震災を受け、3月23日、横手市社会福祉協議会本部内に「東北関東大震災 横手市災害支援ボランティアセンター」を設置し、市内の避難所で支援にあたっていたボランティアの登録受付を行っています。

センター設置以降、3月31日までに個人38名及び3団体のご登録を頂いており、当面、横手市役所で受入を行っている支援物資の仕分けをするボランティア活動をお願いする予定です。

ご用心！ 悪徳訪問業者による被害が発生しました！

単身の高齢者さん宅へ“指輪の訪問販売”と名乗る男性が訪問。男性より、「持っている指輪を見せてほしい」と言われ、持っている指輪をすべて出して見せた。そして、少し席を外している間に、出していた指輪をすべて盗まれ、男性の姿もなかった。

このようなケースが横手市平鹿地域内で発生しました。被害にあわないために、同様の手口に注意しましょう。



口腔ケア(お口の健康)について

口腔ケアの目的には、口腔内の清潔を保つことと、口腔の機能維持を図ることが挙げられます。口腔は、食べる事やコミュニケーションにかかわる重要な役割を果たしています。

口腔機能が低下すると、食物の種類の制限や、次第に免疫力の低下により病気にかかりやすくなるなど、身体全体に悪い影響を及ぼしていきます。

◎家庭で出来る口腔ケア

- ・毎食前後の「歯磨き」や「うがい」で口の中をきれいにしましょう。「うがい」には、頬や舌の筋肉を鍛える効果もあります。
 - ・義歯（入れ歯）も毎食後きれいにしましょう。
 - ・半年に一度は、歯医者さんで状態を見てもらいましょう。
 - ・舌も毛のやわらかい歯ブラシや舌ブラシなどできれいにしましょう。
- （寝たきりなどで、うがいや歯磨きが出来ない方には、緑茶を湿らせたスポンジなどで、口の中や舌を軽く拭いてあげるといいですよ！）

介護の そこが知りたい

かいご通信

今回は秋田県立平成高校インターアクト部のみなさんの活動をご紹介します



～未来につながる若き奉仕の心～



部長の村田葉菜さん

■皆さんは普段どんな活動をしていますか？
「私たちは放課後週3回集まってグループに分かれて校内で出た空き缶からプルタブを集めています。車イスに交換するにはドラム缶数個分のプルタブを集める必要があります。とても大変な作業ですが時間が経たなくても地道に進め、目標を達成したいと思っています。」
■その他にこれまでに行った活動は？
「保育園での読み聞かせや盲導犬の募金活動への協力、昨年は全県のインターアクト部の年次大会の開催を私たちが主体となって行い、他の学校の活動を見聞きし、交流したことでとても良い経験ができたと思っています。」
■入部したきっかけを教えてください
「中学生の時に様々なボランティア活動を副部長 野中 彩織さん（2年）
「最近では2月13日に横手南小学校のまぐらづくりにも皆で参加しました。イメージでは簡単にできそうだったのですが、実際にやってみると細かい作業があり完成するのはとても難しいものだと感じました。ちょうど休日ということもあり、観光客の方が私たちのつくったまぐらを見て感動してくれた時には達成感を感じました。」

「中学生の時に様々なボランティア活動を副部長 野中 彩織さん（2年）
「最近では2月13日に横手南小学校のまぐらづくりにも皆で参加しました。イメージでは簡単にできそうだったのですが、実際にやってみると細かい作業があり完成するのはとても難しいものだと感じました。ちょうど休日ということもあり、観光客の方が私たちのつくったまぐらを見て感動してくれた時には達成感を感じました。」

「困っている人のために何かしてあげることが好きなので、看護師を目指しています。そのためにもこれからの活動の中でより多くの人と関わっていききたいと思っています。」
「将来は動物関係の仕事がしたいと思っています。これからは人のために自分から出来ることを見つけ、相手の気持ちを理解する力を養い、将来の夢の実現に活かしたいと思っています。」
「子どもが好きなので保育士になりたいと思っています。また、読み聞かせなどの子どもに関わるボランティアをこれからもっと行いたいと思っています。」
「ボランティアをするのに興味を持っていました。実際に入部してみると大変なことありますが、とても楽しく感じています。」
■皆さんの将来の夢や今後行いたいことを教えてください
「ボランティアは、自分自身で出来ることを見つけ、相手の気持ちを理解する力を養い、将来の夢の実現に活かしたいと思っています。」
「困っている人のために何かしてあげることが好きなので、看護師を目指しています。そのためにもこれからの活動の中でより多くの人と関わっていききたいと思っています。」
「将来は動物関係の仕事がしたいと思っています。これからは人のために自分から出来ることを見つけ、相手の気持ちを理解する力を養い、将来の夢の実現に活かしたいと思っています。」
「子どもが好きなので保育士になりたいと思っています。また、読み聞かせなどの子どもに関わるボランティアをこれからもっと行いたいと思っています。」



深浦先生とインターアクト部のみなさん

職員リレー No.4

こんにちは

地域の皆さんに、職員の顔を覚えていただくために、毎回リレー方式で職員を紹介していきます。



特別養護老人ホーム憩寿園の鈴木春香です。大学の実習で地元に着いた社協の各福祉サービスに触れ、今の職場を目指しました。現在、介護職員として、日々利用者の皆さんと楽しく過ごしています。秋田弁でのやりとりはあたたかいコミュニケーションで、この仕事の魅力の一つだと思っています。



「東北関東大震災義援金」受付窓口を開設しています。 ～横手市共同募金会から～

東北関東大震災における被災者の方々の一助とするための義援金受付窓口を次のとおり開設しています。皆様のご協力をお願いいたします。

受付窓口 横手市共同募金会各分会（横手市社会福祉協議会各福祉センター内）
受付期間 平成23年9月28日（水）まで
受付時間 平日8時30分～17時30分
問い合わせ先 横手市共同募金会事務局
（横手市社会福祉協議会本部地域福祉課内 TEL.36-5377）

※受付した義援金は、中央共同募金会より被災地の共同募金会に按分のうえ送金されます。

「ふくし川柳」を募集します ～平成23年度「社協だより」新企画～

募集方法などの詳しい内容は、次号の「社協だより第21号」（平成23年6月30日発行予定）で、ご案内いたします。なお、投稿していただきました川柳（数点）は、「社協だより」に掲載させていただきます。

〔例〕本当に 病気治すの 薬じゃない
（平成22年度ふれあいフェスティバル最優秀作品）



（平成22年12月1日～平成23年2月28日受付分）

ありがとうございました

※広報発行回数が年4回になりますので、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

※「善意」の受付は、お住まいの地域の横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

【横手福祉センター受付】

- 横手南中学校様
- 秋田渥美工業株従業員一同様
- 親奥院（真如苑）様
- 後藤律子様（幸町）
- 須釜栄子様（根岸町）
- ハイレンデ・ムジーク様
- 厚木市横手雪まつり訪問団様
- 内町子供会様
- あいおいニッセイ同和損保様

【増田福祉センター受付】

- 三浦吉弘様（本町）
- 竈谷順一様（沢口）
- 北村トミ様（平和通）
- 佐藤好子様（本町）

【平鹿福祉センター受付】

- 公地康男様（伍口）
- よねや浅舞店様
- 社団法人馬鞍愛郷社様
- 渡部優様（道中）
- 松本進作様（高野）

【雄物川福祉センター受付】

- 菊池卓様（石塚西）
- 秋田ナイルズ親睦会様
- 佐藤靖子様（下開北）
- 昭七会様
- 雄物川北小学校様
- 小西恭司様（雄水苑）
- 扇好会様
- 堀江茂寿様（横手）
- 雄物川相撲甚句声友会様
- ブルーサルビア様
- 萌芽笑天様
- 博田一美様（横手）
- 坪井幸子様（新丁）
- 梅若梅一様
- 雄物川中学校生徒様

【大森福祉センター受付】

- 鈴木典男様（上村）
- タイガーマスク様

【十文字福祉センター受付】

- 羽川弥治兵衛様（中村）
- 株式会社リーディングカンパニー様
- 石川信一様（上仁井田）
- 李珍先様（本町）

【山内福祉センター受付】

- 佐々木久一様（李原）

【大雄福祉センター受付】

- 大雄中学校生徒会様
- 阿気小学校児童会・PTA様

【平寿苑受付】

- 真田哲男様（蛭野）
- 平鹿町理容組合様
- 社団法人横手法人会女性部会様

- 平鹿町すみれコーラス様
- 秋田県納豆商工業協同組合様
- 佐藤一男様（吉田）

【雄水苑受付】

- 播磨良子様（桑の木）
- おものがわ町きのこ生産婦人研究会様
- 雄物川町農産物直売の会様
- 雄物川町理容組合様
- 秋田県納豆商工業協同組合様
- 雄物川地域老人クラブ女性部様
- 雄物川地区ミニデサービス様
- 雄物川民謡同好会様
- 堀江茂寿様（横手）
- 秋田相撲甚句会様
- 佐々木幸一郎様（大森）
- 近江チエ様（末館）
- 大庭縫製様

【憩寿園】

- 十文字第二小学校様
- 丹均様（下二ツ橋）
- 東北聖書バプテスト十文字教会婦人会様
- 睦合小学校様
- フリーフォーラムクラブ様
- 鈴木節子様（腕越）
- 伊藤次郎様（梨木）
- 秋田県納豆商工業協同組合様
- 植田小学校児童会様
- 横手ユネスコ協会様
- 睦合小学校様
- 傾聴ボランティアささやき様
- 三重保育所様
- 福田重美様（新古内）



大雄中学校様よりバザーの売上の寄附



阿気小学校様より車イスの寄贈



十文字道の駅「ビリケンさん」募金より寄附



あいおいニッセイ同和損保様より車イスの寄贈

「社協だより震災臨時号」の発行により当号の発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

■横手市社会福祉協議会本部	TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388	■雄物川福祉センター	TEL.0182-56-2072 FAX.0182-23-1817	■大雄福祉センター	TEL.0182-52-3311 FAX.0182-52-3444
■横手福祉センター	TEL.0182-33-8668 FAX.0182-33-8778	■大森福祉センター	TEL.0182-26-3274 FAX.0182-26-4547	■特別養護老人ホーム平寿苑	TEL.0182-38-7011 FAX.0182-38-7012
■増田福祉センター	TEL.0182-45-4848 FAX.0182-44-7867	■十文字福祉センター	TEL.0182-42-5858 FAX.0182-42-4577	■特別養護老人ホーム雄水苑	TEL.0182-22-4561 FAX.0182-22-3607
■平鹿福祉センター	TEL.0182-24-3283 FAX.0182-24-3286	■山内福祉センター	TEL.0182-53-3009 FAX.0182-53-3024	■特別養護老人ホーム憩寿園	TEL.0182-42-2510 FAX.0182-42-2555

横手市社協だより ●発行・横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号
TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388 E-mail: syakyou5@agata.plala.or.jp
この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。